

# SilTite™ $\mu$ -Union

## 技術資料 - Q&A -

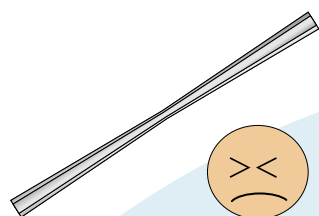
**Q**  $\mu$ -ユニオンは、どういう時に使うんですか？

**A**  $\mu$ -ユニオンは、GCキャピラリーカラムに **ガードカラム\***を接続する場合や、**GCxGCの分析**をする場合のキャピラリーカラムの接続に最適です。  
その他、前処理装置(パージ&トラップやヘッドスペース)からのトランスファーラインを分析カラムに直接接続する場合にも適しています。

\***ガードカラム**は、マトリクス/汚れの多い**食品分析**や**環境分析**で多用されている手法です。  
ガードカラムを使用することでサンプルに含まれる汚れから分析カラムを守ること(**長寿命化**や**カラムをカットすることによるリテンションの変動を防止**すること)ができます。  
また、Splitless注入における溶媒液化での**効果的なピークフォーカシング**が期待できます。

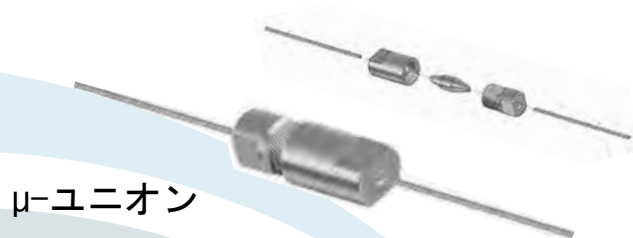
**ガラスコネクター** でのキャピラリーカラムの接続・・・

**うまく接続できない時はありませんか？  
分析途中でリークが起きませんか？**



外れやすいし、  
知らん内に  
リークするし  
たまらんわ...

そんな時に



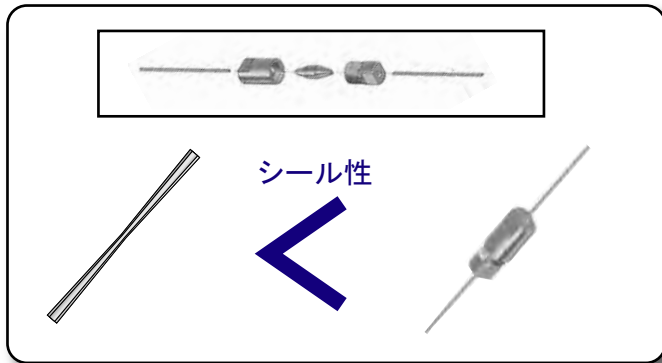
$\mu$ -ユニオン

- $\mu$ -ユニオンでは、**2つのナット**と**1つのフェラル**でしっかりと固定するため、高いシール性を持ちます。
- 取付方法は、**治具を使った手締め**で手間やスキルを必要としません。
- **全長9mm / 重量0.5g**の最小最軽量のデザインです。

## 【シール性】

**Q** μユニオンは、GC装置の動作中に緩んだり、外れたりしませんか？

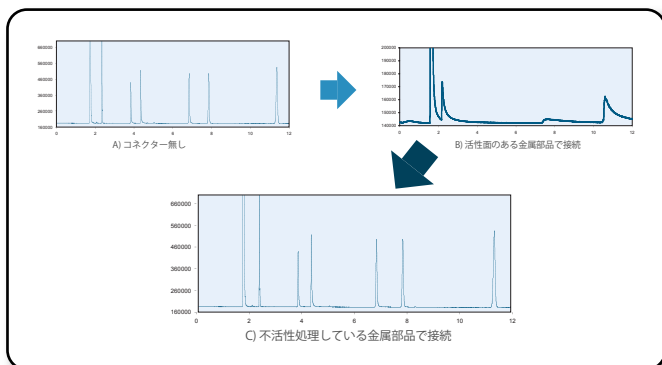
**A** μユニオンは、フェラルとナットを使用してしっかりとしたシール性を持って、カラムを接続するため、装着時にきっちりとシールさせておけば、GC動作中に外れることはありません。また、金属のフェラルSilTiteを採用しているため、GCオープンの昇降温によつてのフェラルの収縮も起こさないため増し締めが必要ありません。



## 【分析への影響】

**Q** μユニオンは、分析の結果に影響を及ぼしませんか？

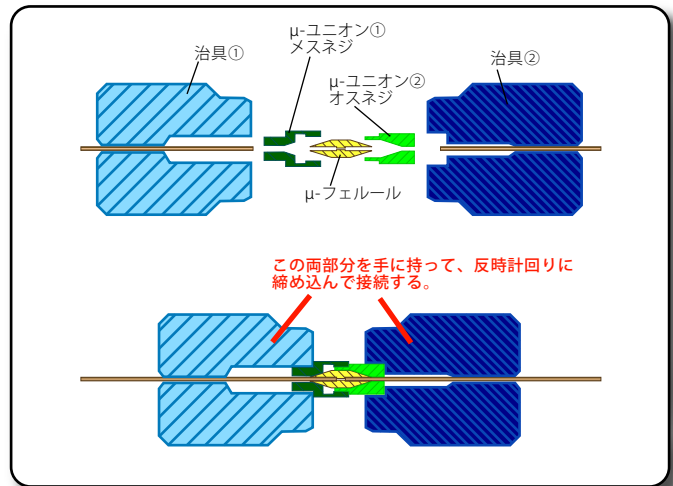
**A** 分析結果に絶対影響しないと言えるカラムコネクターは存在しません。中でもμユニオンは、最小のデザインで最高の熱追従性を持ちオープンの昇降温による影響を最小に抑えます。また、分析物と接触する可能性のある金属フェラルの表面は高度不活性処理を施しているため、成分の吸着や分解を最小限に抑えています。



## 【取り扱い】

**Q** μユニオンは、接続操作が煩雑ではないですか？

**A** ガラスコネクターに比べると若干手間を取りますが、治具を使った手締めでの作業になっておりますので、煩雑な作業ではありません。



## 【コスト】

**Q** μユニオンを採用すると、今までより費用がかかりませんか？

**A** いいえ。ガラスコネクターに比べるとコストは安くなります。下記試算をご参照ください。

コスト	品名	数量	定価	1個単価
コスト	ガラスコネクター	5個	定価¥7,000~12,000	1個単価 ¥1,400~2,400
	μユニオンフェラル	10個	定価¥8,000	1個単価 ¥800
	μユニオン本体	5個	定価¥12,800	1個単価 ¥2,560

◆ ガラスコネクター 10回交換した時のコスト

ガラスコネクター10個 = **¥14,000~24,000**

◆ μユニオン 10回交換した時のコスト (ユニオン本体も1度交換)

フェールール10個 ¥8,000 + ユニオン1個¥2,560 = **¥10,560**



各製品の詳しい仕様、価格につきましてはエス・ジー・イー・ジャパンへお問合わせ下さい。カタログの内容および製品仕様は予告無しに変更されることがありますのでご了承ください。



エス・ジー・イー・ジャパン株式会社  
 〒231-0011 横浜市中区太田町6-85 RK CUBE 3F  
 TEL : 045 222 2885 / FAX : 045 222 2887  
 e-mail : japan@sge.com